

東海経済レポート

（2021年5月）

～東海経済は新型コロナウイルス感染症再拡大の影響で下押し圧力が強まる～

【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は、基調としては持ち直しを続けているとみられるものの、国内の新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う影響で足元では下押し圧力が強まっている。半導体供給不足の懸念は目先残るものの輸出は海外景気の回復を受け引き続き堅調な推移が見込まれる一方、感染症への警戒や医療逼迫への懸念から個人消費は当面弱含みで推移すると予想されるため、景気の回復ペースは総じて緩やかなものとなる。
- 生産：3月の鉱工業生産指数は前月比+4.3%と2ヵ月ぶりに上昇した。水準は101.1とコロナ禍の前年同月（98.0）を約3.2%上回る。業種別では、当地域主力の輸送機械が同+7.3%、電気機械が同+4.0%、生産用機械が同+9.0%とそれぞれ上昇、電子部品・デバイスは同▲0.2%と略横ばいとなった。
 - 設備投資：昨年10-12月期の大企業の設備投資額は前年比+5.7%と3四半期連続で増加した（前月報告分から不変）。金属工作機械の3月の国内受注額（当地区主要8社）は、一般機械工業を中心に前年比▲5.1%と減少した。但し、米中を中心とした海外受注額は大幅に増加したため、総受注額としては2ヵ月連続で増加した。
 - 輸出額(円ベース)：4月は前年比+44.9%と2ヵ月連続で増加した。前年同月時点で既にコロナ禍の影響が顕在化していたこともあり、その反動増で2桁台の大幅な伸びとなった。金額自体をみても1.71兆円と、コロナ禍前の2019年同月（1.18兆円）をも上回る水準まで拡大している。地域別では、EU向け（同+79.6%）、米国向け（同+53.7%）、中国向け（同+26.0%）がいずれも大幅に増加した。品目別でも、工作機械がプラス転化したほか、主要品目で増加がみられた。
 - 雇用：3月の有効求人倍率は愛知、静岡で上昇した。前月に続き、雇用市場のウェイトの大きい愛知県（1.09倍）は全国（1.10倍）と略同じ水準で推移している。
 - 個人消費：3月の小売主要3業態の販売額は、スーパーが前年比▲0.8%と減少した一方、百貨店は同+24.5%、コンビニは同+1.4%と増加した。百貨店中心に、いずれも既にコロナ禍影響が表れていた前年同月からの反動（減または増）が大きい。
 - 住宅投資：3月の住宅着工戸数は年率換算8.0万戸、前年比▲5.7%と11ヵ月連続で減少した。分譲マンションが同+2.0%と増加した一方、持家（同▲5.7%）、分譲戸建て（同▲11.2%）、貸家（同▲5.2%）はそれぞれ減少が続いた。
 - 景況感：4月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、国内の感染再拡大も影響し、39.7(前月比▲9.2ポイント)と3ヵ月ぶりに低下した。

【生産①】

3月の鉱工業生産指数は前月比+4.3%と上昇。水準は101.1と前年同月(98.0)を約3.2%上回る。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

10-12月期の大企業の設備投資は、前年比+5.7%と3四半期連続でプラス。

大企業の設備投資

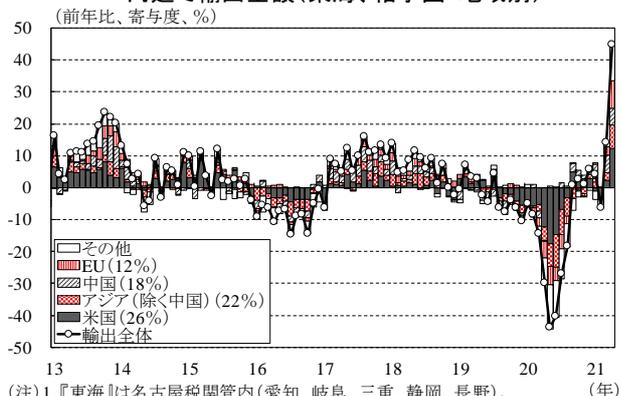


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2. 資本金10億円以上の企業を対象。
3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

4月の輸出額は前年比+44.9%と2ヵ月連続で増加。昨年から反動増もあり主要地域向け全てがプラスに。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)



(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2. ()内の数値は2020年輸出総額に占めるシェア。
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②業種別】

輸送用機械が前月比+7.3%など主要品目で総じて上昇した(電子部品・デバイスは略横ばい)。

業種別の鉱工業生産(東海)

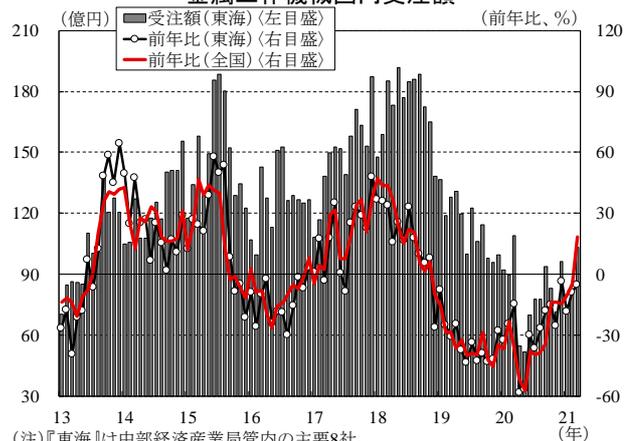


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2. ()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準)。
中部経済産業局算出
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

3月の金属工作機械の国内受注額は前年比▲5.1%、自動車工業は増加するも一般機械工業が減少。

金属工作機械国内受注額

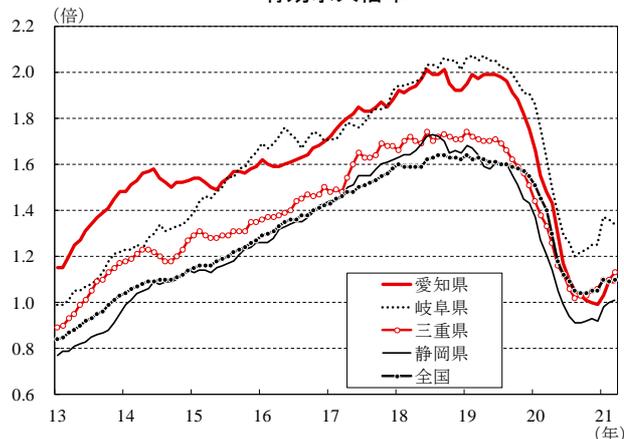


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

3月の有効求人倍率は愛知、静岡で上昇。雇用市場が最大の愛知県は1.09倍と全国(1.10倍)と略同水準。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費（小売主要3業態の販売額）】

3月の販売額は、スーパーが前年比▲0.8%の一方、百貨店が同+24.5%、コンビニが同+1.4%と増加。

小売主要3業態の販売動向(中部)

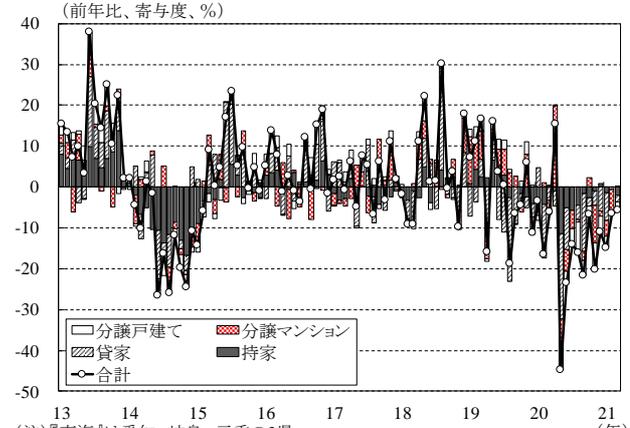


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

3月の住宅着工戸数は前年比▲5.7%と11ヵ月連続で減少。分譲マンション以外は前年比マイナス。

新設住宅着工戸数(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

4月の現状判断DIは39.7(前月比▲9.2ポイント)と、感染症再拡大を受け3ヵ月ぶりに低下。

景気現状判断DI

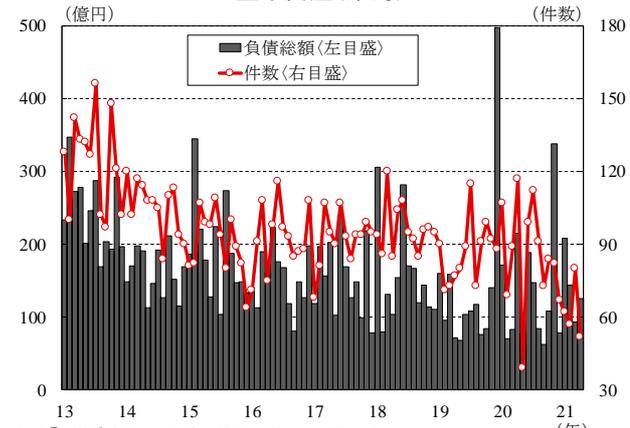


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

4月の企業倒産件数は52件(前年比▲55.6%)、負債総額は126億円(同▲41.5%)と夫々減少。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格(WTI)】

米欧での経済再開が好感される一方、インド等での感染拡大が下押し要因となり、65ドル台で推移。

原油価格

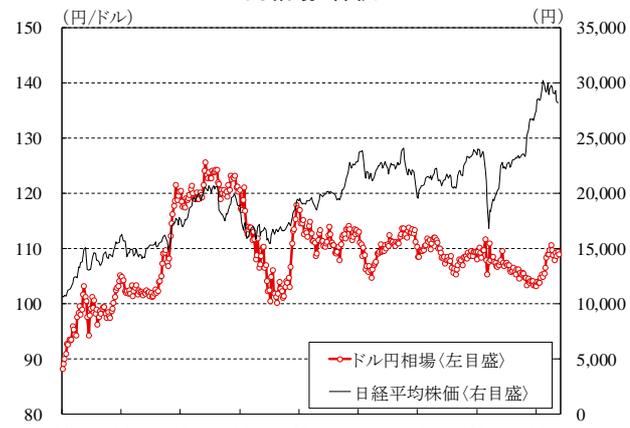


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

日経平均株価は米国インフレ加速懸念から28,000円前後まで下落。円は対ドルで109円前後にて推移。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

福田 洋子 youko_2_fukuda@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。